



ふくしまから はじめよう。若い力による風評対策提案事業

NEWS レター -Vol.1-

福島県

平成26年8月
福島県農林水産部

各団体のイベント情報や取り組みを紹介

福島県は、原子力災害に伴う福島県産農林水産物に対する風評を払拭し、消費や販路の拡大を図ることを目的に「ふくしまから はじめよう。若い力による風評対策提案事業」を実施しています。

本事業では、全国の大学生組織や特定非営利活動法人(NPO法人)などの団体を対象に、若い力(行動力や感性等)を生かした農林水産物を主体に観光等様々な“ふくしま”の魅力を発信する企画・アイデアを全国から募集。斬新な企画を提案した9団体を選定しました。選定団体は、1団体あたり最大800万円を上限として福島県と委託契約を結び、提案した企画をもとに、県産農林水産物の風評払拭と消費・販路拡大に向けた活動を展開しています。

福島県では、本事業を通じて復興支援に取り組む団体を支援するため、各団体の今後のイベント等に関する取り組みについて、お知らせしていきます。

イベントピックアップ！

特定非営利活動法人 福島インターネットテレビジョン

～福島県産の食材で、“セカイメシ”料理教室を開催！～

「セカイメシクッキング教室 in 会津 ～福島産で作る世界の料理～」と題し、会津大学の学生と留学生による料理教室を開催します。美味しい福島食材を用いて“セカイメシ＝世界の家庭料理”を参加者の方と一緒に作ることで、国際交流の機会を提供するとともに、福島県産野菜の美味しさや魅力を伝えていきます。



■日時：8月30日(土)11:00～14:00

■場所：会津若松市生涯学習総合センター

(會津稽古堂)クッキングスタジオ

■参加人数：25人(先着順)

※応募方法は、後日facebookページなどでお知らせします。

【facebook】<https://www.facebook.com/sekaimeshi>

【ホームページ】<https://sekaimeshi.jp/>

■参加費：無料

8月～9月イベント情報

土湯温泉ふくしまディステーションキャンペーン推進会議

～土湯温泉の若旦那が、ふくしまのおいしいを伝えるフリーマガジンを創刊～

土湯温泉の若旦那がふくしまのおいしいを伝え、福島県の風評に立ち向かうため、福島学院大学の学生と連携し、若者が思うふくしまの風評対策に向けたフリーマガジン「若旦那図鑑」を創刊します。創刊を記念して、8月23日・24日に丸の内「JPタワーKITTE」でPRイベントを開催。フリーマガジンを配布するほか土湯温泉のキャラクター「きぼっこちゃん」も登場し、ふくしまの魅力をアピールします。



■日時：8月23日(土)12:00～17:00

8月24日(日)11:00～14:00

■場所：JPタワーKITTE 地下1階 東京シティアイ

特定非営利活動法人 福島県自然体験合校協会

～お笑いタレントによる道の駅イベント開催～

福島県内の道の駅でイベントを開催し、年間を通じて、その季節に応じた福島の特産品の魅力を全国に発信していきます。第1回目となるイベントでは、「道の駅ばんだい」で開催します。当日は、お笑いタレントによる特産品の紹介やTOKYO FM「やまだひさしのラジアンリミテッドF」のパーソナリティ・やまだひさし氏によるトークショーを行います。トークショーでは、福島県の県産品の美味しさや魅力を紹介します。この模様は、ニコニコ動画でも配信します。

■日時：8月31日(日)11:00～15:00

■場所：道の駅 ばんだい

■内容：11:00～11:30 お笑いタレントによるステージイベント

13:30～14:30 やまだひさし氏によるリポート(インタビュー)

特定非営利活動法人 Power of JAPAN

～東京にしながら福島魅力を体験！「ふくしま×東京モノレールの旅」～

福島県の魅力を多くの人に伝えるために、東京モノレールを貸し切って福島PR列車を走らせるイベント「ふくしま×東京モノレールの旅」を9月21日(日)に開催します。東京モノレールの車内では、福島県の浜通り・中通り・会津地方など、それぞれの地方の特色を生かしたイベントや名産品の試食を行うなど、東京にしながら、ふくしまを旅しているような気分を演出します。また、ふくしまの食材を使った美味しいお弁当やお土産などをご用意します。また、当日は、10:00～18:00まで東京モノレール浜松町駅および羽田空港第2ビル駅で、ふくしまの美味しいものを取り揃えた、ふくしま物産展を同時開催します。

■日時：9月21日(日)11:30～14:00(予定)

■場所：東京モノレール 羽田空港第2ビル駅出発

■応募方法：特定非営利活動法人 Power of JAPAN ホームページをご覧ください。

<http://power-of-japan.com/>

■応募締切：8月21日(木)

■当選者発表：厳正なる抽選の上、8月28日(木)までに当選者の方に

はがきで当選通知を送らせて頂きます。当選者の発表は、発送をもって代えさせて頂きます。



ふくしまから はじめよう。若い力による風評対策提案事業 概要

<事業概要>

- 委託事業名 ふくしまから はじめよう。若い力による風評対策提案事業
- 委託料 1団体8,000,000円(消費税及び地方消費税含む)を上限。
- 募集団体
- ・大学生、短期大学生を主たる構成員とする団体
 - ・特定非営利活動法人(NPO法人)
 - ・農林漁業者を主たる構成員とする団体
 - ・商工業者を主たる構成員とする団体
- ※なお、福島県外に主たる事務所を置く団体等にあたっては、
県内の団体等の共同提案とする。
- 委託契約期間 平成27年2月28日まで
- 公式ホームページ <http://www.wakaichikara.jp/>

<選定団体>

No.	団体名	事業名	事業内容
1	福島県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部	ふくしま 朝ごはんプロジェクト	「宿の朝ごはん」は郷土が育む元気の源というコンセプトのもと、福島県内の農林水産物生産者と旅館業界がコラボし、この提案事業を通して、福島県産「食」の安全・安心と美味しさをアピールするとともに、新たに県内の農林水産業や観光業、行政の連携した情報や商品提供のシステムを構築したいと思っています。
2	土湯温泉ふくしまディステーション推進会議	～ふくしまの小さな温泉地 土湯温泉の若旦那の挑戦！ふくしまの食の安全安心を世界に発信しふくしまの観光振興に繋げる～「つちゆ à la food ふくしま」	アラフドとは、新雪を踏み固めて道筋をつくるという土湯温泉の方言。観光地としての特色を活かし、ふくしまを訪れる宿泊者の方々に、安全・安心な食材を提供することで、ふくしまを理解して頂き、又、首都圏で食の安全・安心を発信し、現在のふくしまの本当の姿を伝えることが、風評払拭につながるものと考え行動します。
3	特定非営利活動法人 福島県自然体験合校協会	福島応援の風を西から。東北へ吹く西風の軌跡は日本全土。	福島県の美味しい地元農産物を全国へ発信し、未だに懸念される風評を吹き飛ばすために、3つの大きな柱で活動します。①吉本興業との連携 ②東京FMとの連携③お裾分けプロジェクトとの連携。以上の柱をもとに、全国区の知名度とネットワークを大いに発揮し、日本全国に発信します。
4	特定非営利活動法人 福島インターネットテレビジョン	World meets Fukushima ～福島産のセカイメシ～	福島県で採れる農林水産物は非常に多く、日本の食を担う中心地でもあります。この福島の農林水産物を用いて、世界各国の料理を作ると本当においしいのです！ 私たちのプロジェクトでは、世界各国の料理レシピを福島県産品を原材料として作ることを提案し、おいしい福島産『セカイメシ』を福島から世界へと発信します。
5	特定非営利活動法人 フロンティア南相馬	全国ご当地ヒーロー料理バトル！～福のしまへー食足発～	福島県内で活躍する4人のご当地ヒーローが、福島県産品を持って全国を駆け巡る！全国各地のご当地ヒーローと福島県産品を使ったレシピで料理バトル！訪問先の食材や名物料理ともコラボする。新しいレシピを開発するヒーロー達・・・果たして彼らは、風評を倒し食で繋がる福島を紡ぎ上げる事が出来るのか？
6	特定非営利活動法人 TATAKIAGE Japan	福島県産ライスバーガー“こめて”販路開拓プロジェクト	福島県産のお米を使ったライスバーガー“こめて”の製品開発・販路開拓を行います。私達は、福島県の農産物の風評払拭のため、「可哀そうだから買う」ではなく「美味しいから買う」をコンセプトに、生産者の方々の想いをこめて、国内更には海外へと“こめて”を販売し、その美味しさを広めて参ります。
7	inelいわき農商工連携の会	地産旬味 福食MENUプロジェクト	福島県産食材・素材の風評対策と魅力創出を行います。シェフと生産者加工者等の連携を推進し、県産食材を積極的に使うシェフを増やし、開発メニューを増やすことで、消費者ニーズを創出します。同時に子どもたちへの食育の機会をつくり、食育情報発信と食育教材テキスト化も同時に行うことで親子等へ伝え、福島っ子の元気な体づくりへつなげます。
8	特定非営利活動法人 Power of JAPAN	ふくしまから はじめよう。ふくしまから つなげよう。	当プロジェクトは、福島県の生産者や県外・県内消費者及び加工事業者等のみなさんが福島の食でつながるプロジェクトです。貨切列車でのイベント、料理専門誌との連携で福島の食を広くPRし、1人でも多くのみなさまに福島の魅力を伝えていきます。
9	ふくしま食文化探検隊	食べた分だけ伝えたい ふくしまベジ食べ×RUプロジェクト	社会心理学の知見を生かし、「1人が身近な2人に伝える」をテーマに展開します。福島県内のNPO法人と連携し、福島県の食材を身近に感じてもらう企画や、福島を実際に訪問して体験した福島の魅力を発信していきます。肌で感じた福島の魅力を「伝える」ことで、関西から風評の払拭に貢献します。